

環境時代にふさわしい 無水式トイレ誕生

男性用無水小便器「ウォーターフリー」はアメリカ生まれ
アメリカのファルコン・ウォーターフリー・テクノロジーズ社が開発して世界48
カ国で特許を取得。日本では省エネ事業を展開している省電舎が販売



▲壁掛け型
(幅48.8cm×高さ
64.2cm×奥行き38.5cm)



▲床置き型
(幅36cm×高さ97.5cm×
奥行き40cm)



▲専用カートリッジ
は写真のように設置



専用カートリッジの密封液が排水管
からのアンモニア臭を封じ込める

現在、男性用小便器の多くは
水洗式が中心で、洗浄用水を流
すことで尿成分を発生源とする
アンモニア臭を防いできれいに
保つ仕組みだ。しかし、最近、
水を使用することなく悪臭を防
ぐ無水式の小便器が増えつつあ
る。水洗式の場合、上下水道を
合わせて小便器1器当り年間約
100,000円～300,000円の水道
代がかかるという。しかし、無
水式なら水道代を大幅に減らす
ことができるので二酸化炭素
(CO2)の削減にもつながる。
水洗式で生じる黒い筋のような
汚れは水自体に含まれるカルシ

ウムや錆
が原因だ
が、無水
式は専用
洗剤をか

けてさっと拭くだけで便器をきれいに保
つこともできる。給水管の工事や、水を

自動的に流すためのセンサーが
不要なので電源工事もいらな
い。この無水式トイレは、普段
当たり前と思っていることのな
かにも、考え方と工夫次第で無
駄を大きく省くことができると
いう見本的な製品と言えるだろ
う。まだごく一部の公共空間等
で設置されている程度だが、今
後は学校にも普及していく可能
性は高い。「これは本当に必
要?」とか「これに替わるもの
で資源を無駄使いしないで済む
ものはないだろうか?」といっ
た視点で日頃から身の回りを注
意して見ていると、環境時代に

適した発
明を思い
つく可能
性もある。
そんな習

慣が身につけば、毎日の生活ももっと楽し
くなるかも…。

